

令和5年第2回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時	令和5年2月15日(水) 午後1時30分から午後4時4分まで		
開催場所	市役所 5階 教育委員会室		
出席者	教 育 長	滝 嶋 正 司	
	教育長職務代理者	吉 川 明 彦	
	委 員	橋 本 秀 樹	
	委 員	宮 崎 英 子	
	委 員	安河内 由 香	

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	内 藤 光 重	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
教育施設管理課長	竜 円 一 征	社会教育課長	石 井 巳代子
中央公民館長	内 出 智 美	中央図書館長	加 藤 和 子
スポーツ振興課長	奥 富 喜 和	学校教育部長	田 中 義 久
次長兼教育指導課長	宇佐見 昌 義	教育センター所長	今 福 雅 之
学 務 課 長	中 山 昭 夫	学校規模適正化担当課長	清 水 幹 記
入間川学校給食センター所長	小 巖 聖 明	書 記	上 村 理 恵

会議の公開・非公開 議案第7号から第9号までの3議案については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから、非公開とした。

傍 聴 者 数 0名

報告事項

- ・今宿遺跡復元住居等の再整備事業の基本計画について

報告者（社会教育課長）

(要旨)

今宿遺跡は奈良・平安時代の大規模集落の遺跡であり、昭和45年に復元住居を設置、以後50年間維持されてきた。この文化財の現状を踏まえ、課題の解決を図るための再整備の基本方針として、課題の解決を図り、学校教育の教材や生涯学習の素材として安全に利用できる公園を目指すこととした。保存・継承の課題のうち最も重要な復元住居の外観について、最新の学術的知見に沿って検討した結果、土葺き屋根であったと考えられることが分かった。このことは、埼玉県埋蔵文化財発掘調査事業団調査部長・田中弘明氏をはじめ、東京大学工学部海野聡准教授ほか、多数の学識経験者の助言をいただき、社会教育

課の学芸員が検討した結果である。また、復元住居の安全性を向上するため、復元住居は土屋根の RC 構造とし、耐久性を高めメンテナンスをしやすいとする。管理は地元自治会と協力して行う。活用については、博物館やその他教育機関と協力し学習に資する体験授業等を展開する。また、メタセコイヤの古株については撤去するが、一部博物館にて展示する。今後は、基本計画を2月中に決定し、市の公式ホームページ等で公開するとともに、回覧や掲示物により周知を図る予定である。工事については、計画に基づき実施し、12月の竣工を予定している旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、土葺き屋根とはどのようなものか、また、史跡スペースには、再整備後自由に出入りはできなくなるのかとの質疑に、柱を立てその上に枝等を乗せ土をかぶせたものが土葺き屋根である。また、史跡スペースには公園側から自由に出入りできるようにする旨の答弁がなされた。

・富士見集会所の夜間利用について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

富士見集会所の利用時間は、午前9時から午後10時までとなっているが、経費削減と周辺地域の安全管理を目的に、午後5時以降の予約が1件もない日について、公民館と同様に、午後5時に閉所する運用を試行する。令和5年5月2日利用分から一定期間試行し、検証を行う旨の報告がなされた。

・令和4年度『中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」』
冬季集中講義の結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

対象は1年生から3年生、実施教科は、国語・数学・英語の3教科であり、委託業者からの派遣講師による講義形式の授業を3日間実施し、延べ649名の参加があった。事前・事後のテスト結果を見ると、どの学年どの教科も伸びが見られた。最終日に行ったアンケートでは、「参加してとても良かった・良かった」が91%、「授業がとても分かりやすかった・分かりやすかった」については、どの教科も90%近く、昨年度より満足度が上がっている。自由記述のコメントを見ると、生徒達にとって有意義な時間になったことが分かる旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、授業を行った業者からのコメントはどの質疑に、授業にまじめに取り組んでいる、落ち着いた状態で授業がしやすい、課題としては、参加した生徒を見ると表現力の部分が少し弱いという指摘があった。授業の中で意識してその点を上げられるように工夫して指名したり、実際に発言させたりし授業を進めたい旨の答弁がなされた。講師の授業を見て気づいたことはあるかとの質疑に、講師は塾の先生や高校や他市で講師を務めている方々が多く、講義型の授業としては参考になる部分が多々あり、先生方にも参考にしてもらいたい。今、小中学校で推進しようとしている主体的で対話的で深い学

びという視点からすると、まだまだ昔ながらの授業形態であり、もう少し工夫できると感じた旨の答弁がなされた。学力向上とともに、家庭学習の習慣化を目指しており、その点へのアドバイスをして欲しいがとの質疑に、家庭学習の習慣化については、現在は宿題を出す形で行っているが、実際にどうやるかなどのアドバイスを具体的な声掛けを通して行いたい旨の答弁がなされた。

・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和4年度第2回狭山市立富士見集会所運営審議会の開催結果について、その概要について報告がなされた。

委員からの質疑では、富士見集会所の夜間利用については、この場で協議されたのかとの質疑に、会議で説明し了承された旨の答弁がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係1件、教育指導課関係1件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、ハイパークミュージックフェスティバルは、何年前に開催した実績があるのでは。また、入場料が高いがその点は問題ないかとの質疑に、2005年、2006年に開催した実績があり、その時と同じように開催される予定である。入場料については、令和4年に他で開催されたフェスティバルの金額を確認したところ、2日で3万6千円とか2万6千500円とか、著名な出演者がいることもあるが、比較的高額となっている。ハイパークという狭山市の文化遺産を活用してのミュージックフェスティバルという趣旨を踏まえて市でも後援名義の使用を承認しており、フェスティバルの運営には妥当な料金であると判断した旨の答弁がなされた。以前開催した際は後援名義の使用申請はあったのか。また、他の事例では、行政の後援名義の使用承認を受けているのかとの質疑に、2005年の開催時には、狭山市・狭山市教育委員会・狭山市観光協会が後援しており、入間市・入間市教育委員会でも後援している。2006年の開催時には、埼玉県・狭山市・入間市が後援している。入場料は1日6,500円、2日間とおして1万円であった。他の同様のイベントでも県や市町村が後援を行っている旨の答弁がなされた。

・その他

令和5年度博物館春期企画展の開催について

報告者（社会教育課長）

今回は市内在住のトリック3D作家である服部正志氏の作品展であり、令和5年3月18日（土）から5月14日（日）までの間開催する。不思議な絵画の

世界とわくわく体験をテーマとしたトリック3Dアートや錯視クイズや錯視の歴史や手法、科学やアートについても紹介する予定である旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、チラシに描かれている作品の全てが体験できるのかとの質疑に、チラシに載っている全てのトリックアートについて、博物館全体を使って展示する旨の答弁がなされた。

議 案

議案第2号 狭山市立博物館条例の一部を改正する条例

博物館法の改正に伴い、所要の改正をすることについて、令和5年第1回狭山市議会定例会に議案を提出するため、提案がなされたものである。

議案第2号については、原案可決した。

議案第3号 第3次狭山市子ども読書活動推進計画について

子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づき、第3次狭山市子ども読書活動推進計画を定めるため、提案がなされたものである。

委員からは、子どもたちにとって、家庭での働きかけが読書の始まりかと思う。「家庭で行う読み聞かせの楽しさや大切さを伝える」とあるが、保護者に大切さをしっかり伝えてほしい。親子のコミュニケーションのみならず、本を読むことで知能の発達、非認知能力が養われることを保護者向けに説いてほしい。4歳くらいになると、コミュニケーションがとれているから、本はもういいというのではなく、保護者が本を手放さないように学術的な部分も伝えてほしいとの要望がなされた。

議案第3号については、原案可決した。

議案第4号 令和4年度狭山市一般会計補正予算（第10号）－教育費

令和4年度狭山市一般会計補正予算（教育費）に関する議案を令和5年第1回狭山市議会定例会に提出するため、提案がなされたものである。

議案第4号については、原案可決した。

議案第5号 令和5年度狭山市教育行政の取組と重点について

狭山市教育行政の一層の充実を図ることを目的に、令和5年度における教育行政

の取組と重点を定めるため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、

Ⅲ 質が高く魅力ある教育環境の充実について、

学校施設のプールについて、今後の計画はどうなっているのかとの質疑に、学校プールについては、不具合のあるところは諸工事の中で修繕を行う。老朽化が進みかなり問題になっているが、泳力を伸ばすことを目的に、現在、プールのあり方検討委員会を立ち上げて、庁内で方向性を検討し、基本方針を策定する予定である旨の答弁がなされた。

V 元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興について、

委員からは、パラスポーツ教室「あすチャレ！スクール」は素晴らしい企画であり、今年度も学校で話題となっており、今後も続けてほしいとの要望がなされた。

議案第5号については、原案可決した。

議案第6号 令和5年度狭山市一般会計当初予算—教育費

令和5年度狭山市一般会計当初予算—教育費に関する議案を令和5年第1回狭山市議会定例会に提出するため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、歳出1項3目教育指導費中、コミュニティ・スクール事業費について、以前、学校運営協議会に推進員を置くとのことであったが、その方々の謝金は予算計上しているのかとの質疑に、予算計上しているが、推進員の委嘱は行っていない状況である旨の答弁がなされた。

2項小学校費と3項中学校費が増えている要因はとの質疑に、小学校費については、施設改修や温度保持工事が予定されていることと、光熱水費の高騰による増である。また、中学校費についても施設改修工事が予定されており増となっている旨の答弁がなされた。

小中学校費中の教育振興費の説明にある「授業目的公衆送信補償金」はどのようなものかとの質疑に、授業でインターネット等を通していろいろな著作物を利用しているが、補償金を支払うことで著作権者等に許諾を得ないで利用できる。そのため予算を計上している旨の答弁がなされた。

歳出3項3目学校施設整備費中、柏原中学校アスベスト調査委託料について、アスベストは既に除去されていると思っていたがとの質疑に、飛散して人体に影響があるところについては、全て除去してある。今回のアスベストについては、外壁の塗料やダクトのフランジの接続部分に使われているもので、固着してあるものを削る際に粉が飛散する。工事改修作業に影響が出ることから、外壁の塗料等にアスベストが含まれているかどうか調査するものである旨の答弁がなされた。

5項2目文化財保護費の文化財発掘調査事業費は、今宿遺跡の再整備に係る事業費かとの質疑に、今宿遺跡の再整備に係るものではなく、開発行為が行われるエリ

アの発掘調査のための委託料等である旨の答弁がなされた。今宿遺跡の再整備はすべて寄付金で賄うのかとの質疑に、全て寄付金で賄い、残った分は維持管理に充てる旨の答弁がなされた。

なお、委員からは、市として教育に力を入れているということを広く伝えるとともに適切な予算執行につとめてほしい旨の意見がなされた。

議案第6号については、原案可決した。

議案第7号 令和5年度当初狭山市立小中学校管理職の人事異動について

令和5年度当初狭山市立小中学校管理職の人事異動について、埼玉県教育委員会に内申するため、提案がなされたものである。

議案第7号については、原案可決した。

議案第8号 令和4年度途中の狭山市立小学校管理職の人事異動について

令和4年度途中の狭山市立小学校管理職の人事異動について、埼玉県教育委員会に内申するため、提案がなされたものである。

議案第8号については、原案可決した。

議案第9号 令和4年度狭山市教育委員会管理職の人事異動について

令和4年度狭山市教育委員会管理職の人事異動を令和5年3月1日付けで実施するため、提案がなされたものである。

議案第9号については、原案可決した。

以 上